

令和8年2月 砥部町教育委員会 臨時会 議事録

日 時 令和8年2月17日(火)9時00分

場 所 砥部町中央公民館 2階 会議室1

出席者 大江 章吾 教育長

篠原 弘康 教育委員

壽野 章子 教育委員

佐川 恵子 教育委員

松永 泰 教育委員

事務局職員 伊達 定真 学校教育課長

山本 勝彦 社会教育課長

堀 潤一郎 子育て支援課長

上本 隆弘 社会教育課長補佐

湊 緑 学校教育課長補佐

傍聴人 0人

議事の概要 開会に先立ち、再任された大江教育長及び篠原教育委員が就任挨拶。

9時00分、教育長が委員の出席を確認、開会及び会議の成立を宣言。

会議時間を委員に諮り、12時00分までと決定。

議事録署名人に、佐川委員、松永委員を指名。

○教育長職務代理者の指名

○議席の決定

○議事

【議案第5号】令和7年度砥部町一般会計補正予算(第10号)のうち教育費に関する意見聴取について

【議案第6号】令和8年度砥部町一般会計予算のうち教育費に関する意見聴取について

○その他

(1) その他

10時20分、教育長が閉会を宣言。

日程第1 教育長職務代理者の指名

発信者	内容
大江教育長	・教育長就任に伴い、職務代理者に篠原委員を指名する。

日程第2 議席の決定

発信者	内容
大江教育長	<p>・議席について、現在の議席のままとすることを提案。</p> <p>－異議なし－</p> <p>【議席順】</p> <p>議席①番 松永 泰 教育委員</p> <p>議席②番 佐川 恵子 教育委員</p> <p>議席③番 壽野 章子 教育委員</p> <p>議席④番 篠原 弘康 教育委員</p>

日程第3 議事

発信者	内容
【議案第5号】令和7年度砥部町一般会計補正予算（第10号）のうち教育費に関する意見聴取について	
伊達課長、山本課長 教育長 山本課長 教育長 上本課長補佐	<p>○補正予算概要説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひめラー」についての説明を。 ・愛媛県と東京藝術大学が中心となり、アートベンチャーの事業を行うにあたり、地域の中で文化・創造を行っていく人をいう。「ひめラー」は現在40人ほどおり、本町でも、アートベンチャーエヒメフェスの際に「ひめラー」の人が中心となって、会場の運営等を行ってもらった。 ・「ひめラー」は誰が委嘱するのか。 ・愛媛県と東京藝術大学が主となっているアートベンチャーという組織で、「ひめラー」の委嘱をしている。全国的に芸術祭は行われているが、愛媛県は愛媛県らしいやり方をとということで、芸術家と地域の人を結びつける媒体（アートコミュニケーター）の「ひめラー」が必要と考えたものである。また、持続性を高めるために、「ひめラー」の育成もアートベンチャーという組織が行っている。
<p>《 可決 》</p>	

発 信 者	内 容
【議案第 6 号】令和 8 年度砥部町一般会計予算のうち教育費に関する意見聴取について	
各課長 伊達課長 山本課長 堀課長	○当初予算概要説明。 (学校教育課に関するもの) (社会教育課に関するもの) (子育て支援課に関するもの)
壽野委員	<p>《宮内小学校のサポートルームの設置状況について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、サポートルーム未設置である宮内小学校の今後の体制について。
伊達課長	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートルームの設置については、各学校の意見等を聞きながら進めている。宮内小学校は支援教育の教室を利用しており、専属的な必要性は今のところはないという学校側の考え方である。今後、随時確認しながら、進めていきたい。
壽野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からも通級のさくら教室が一時的な居場所になっていると聞いている。教室を利用するということは、サポートを必要とする子どもがいるということなので、必要な子ども達のサポートについて状況の把握をしてほしい。
伊達課長	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートルームを設置した場合は、人的な支援の配置となる。それ以外にも、ソーシャルワーカーやハート相談員も配置しているので、学校が有効に活用し、対応してもらいたいと思う。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・旧砥部地域の小学校では、宮内小学校のみが未設置となっている。引き続き、学校と連携し、情報共有をしていきたい。
松永委員	<p>《部活動地域展開事業の地域おこし協力隊について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊が事務員補助という形になっているが、子ども達を指導する立場の人ではないということなのか。
伊達課長	<ul style="list-style-type: none"> ・技術的な人を雇用するのではなく、地域展開の体制づくりを第一段階として考えている。地域おこし協力隊は 1 人しか雇用できないわけではないので、実務的な指導員の雇用も必要ならば考えていきたい。
松永委員	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源だと思うが、国の補助事業も上手く活用してもらい、将来的な指導員の人材確保に努めてほしいと思う。
伊達課長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊は国の交付金でほぼ賄われ、原則 3 年以内となっている。必要な人材について、資金を活用しながら取り組んでいきたい。
松永委員	<ul style="list-style-type: none"> ・定着というか、継続的な人材確保をしてほしいと思う。
篠原委員 伊達課長	<p>《医療的ケア児の委託料について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児の委託料が高いのではないのか。 ・医療行為を行う看護師 2 名の人件費である。

篠原委員 伊達課長	・時給いくらで計算しているのか。 ・児童1人に看護師1人で7,480円(平日)、児童2人に看護師1人で13,200円(平日)である。
篠原委員	・児童2人に看護師1人で13,200円(平日)は、少し高いように思う。医療的な話でいうと、病院でも1人が2人看るとしても1人分で計算されるので、交渉の際には参考にしてほしい。
伊達課長	・来年度の契約に向けて、業者の選定の際に検討したいと思う。
篠原委員 伊達課長 篠原委員	<p>《 砥部小校舎外壁劣化修繕工事について 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砥部小学校の大規模改修はいつ頃だったのか。 ・平成29年である。 ・中央公民館も含めて、改修後の修繕が頻繁にあるように思う。大規模改修しても5年くらいで修繕しているように感じるので、改修工事をしたら10年くらいは保ってほしい。
教育長	・建物がだんだん古くなってくるので、修繕は必要になると思う。ひびが入っているとのことなので、躯体にどの程度影響するのかなどの調査も含めて修繕を行いたい。
佐川委員	<p>《 子どもの居場所づくり事業について 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が利用するときの貸し出しの際など、職員の配置はしないのか。
堀課長	・常時、会計年度職員を1名配置する予定である
《 可決 》	

日程第4 その他

発信者	内 容
(1) その他	
壽野委員 伊達課長 壽野委員	<p>《 山村留学センターの募集について 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山村留学センターの募集はいつまで行うのか。 ・2月20日までである。 ・年度途中の受け入れというのも魅力的だと思う。学校の環境を変えたいと年度途中で考える親子もいるのではないだろうか。
教育長	・年度途中の受け入れはあまり考えていないが、途中で環境を変えたいという希望も確かにあるのかもしれない。子どもが適用できるのなど、慎重に考えていかなければならない。
篠原委員	・年度途中の受け入れはいいと思うが、子どもに負担がかかると思う。子どもが納得して入所しないと、年度途中というのは子どもにとってリスクが高いように思う。

伊達課長	<ul style="list-style-type: none"> ・年度途中の受け入れもいいが、他の留学生との絡みも考慮しなければならない。1年間頑張ろうとやってきている留学生の中に、突発的に途中で入ってきて途中でやっぱりやめると帰ってしまうと環境的に宜しくない。ただ、来年度の獲得に向けて、夏休み期間中などに一定期間の体験を実施してもいいのかもしれない。
松永委員	<ul style="list-style-type: none"> ・賛成である。小規模校の学校経営なので、一定期間の体験や年度途中の受け入れの考え方はいいと思う。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・当初、山村留学センターは高市小学校の存続のためにできたものであるが、時代も変わり、教育の考え方も多様化してきているので、山村留学センターについても柔軟に考えていく必要があると思う。来年度は、広田小学校や幼稚園などを考える教育懇談会の開催を考えているので、そこでも話し合いたいと思う。